

各位

関西岩場環境整備ネット

西村良信

烏帽子岩・堡塁岩問題話し合い会議 開催のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は **KINET** の活動にご協力賜り厚くお礼申し上げます。

早速ですが、烏帽子岩・堡塁岩の諸問題について、登られている方々にお集まりいただき、現状の事についてご意見をいただき議論を行いたくお知らせしますのでご参加いただきますようお願い申し上げます。

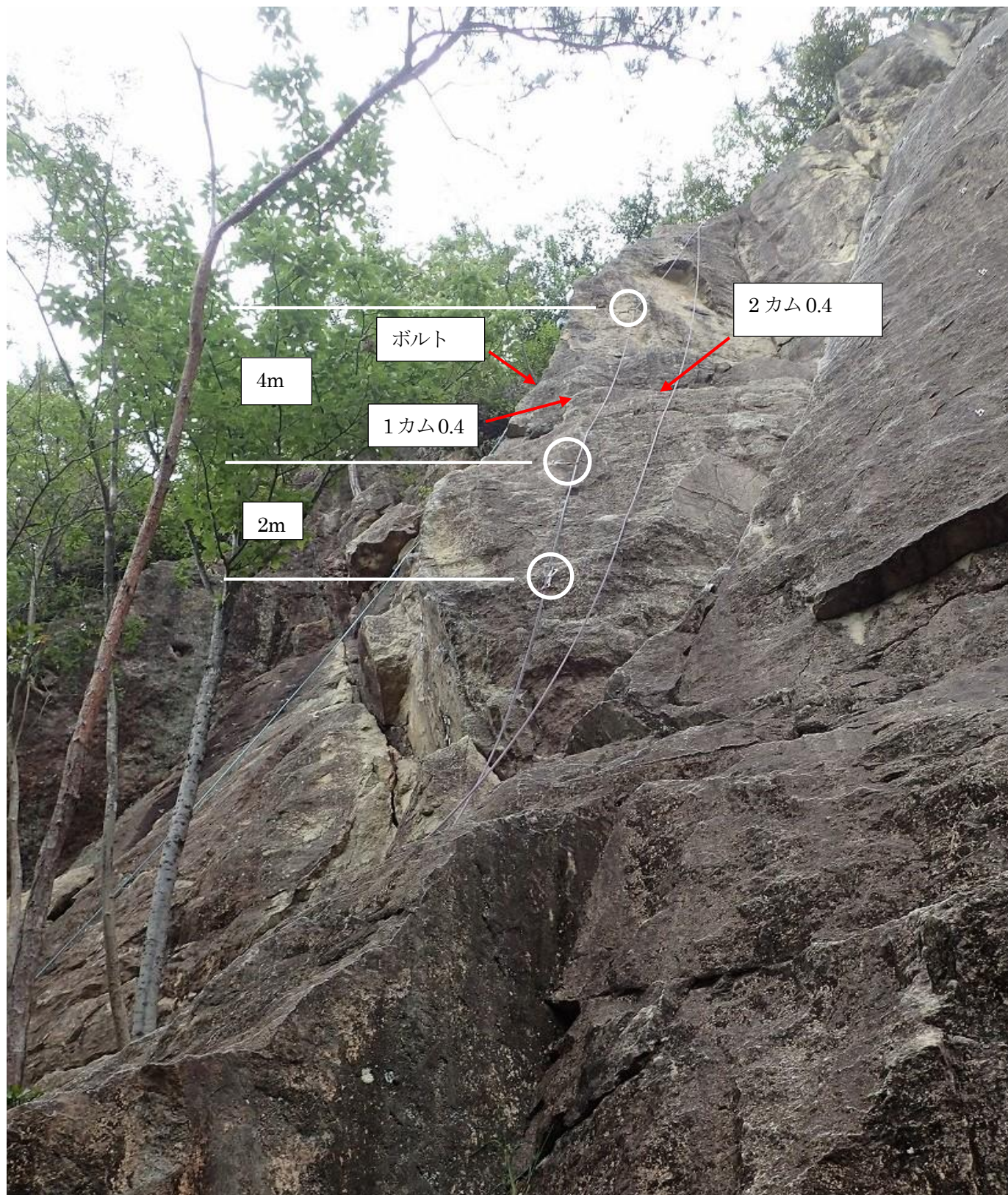
記

- 【主催】 関西岩場環境整備ネット (KINet)
【集合場所】 神戸登山研修所
【日程】 2023年6月30日(金) 19:00~
【議題】 1. 烏帽子岩 熊カンテ 2~3ピン間支点追加検討依頼問題
2. 堡塁岩
1. カンタレス・スカイフレーク・右カンテ左のリボルトについて
・リボルトをおこなうか否か
・可の場合、ケミカル、ウエッジ型か
2. 堡塁岩におけるドライツーリングの可否について
3. 不動岩のドライツーリングの可否について
3. その他協議事項があれば・・・。

烏帽子岩 熊カンテに関して・向山義則 2023/06/07 (Wed) 09:56:57

既に検討され、今更と言われるのかも知れないのですが、2ピンと3ピンの間のランナウトは大変危険と思います。最近左に出来たルートから長いシュウリングを伸ばし確保している方を見受けます。ですが、もし墜落したらどのような事になると考えておられるのか、私にはとても恐ろしい情景が浮かんでしまいます。恐ろしい光景はそこを使わず3ピンに向かい立ち上がって落ちた場合も同じように出現するでしょう。それは、「ランナウトの緊張感をなくしてはならない」とはもう次元が異なると思います。事故が起こるという話です。臆病な私は傍にあった松の小木にシュウリングを巻き付けて登っていましたが、再生に際してその小木は伐採されて壁の景色はすっきりしたのですが大変危険なルートが出現したように思うのです。当然小木の伐採に代わり「打ち足し」が検討されたとは思いますが、そうまでして「危険性」を採用してしまうのか分かりません。その結論に対して皆さんは納得されていないから隣から引っ張るという更に危険な状態が出現し、野放しとなっているのではないのでしょうか。余計なことと思いつつ、それでももしそこで墜落して事故が起こり、あとき声を上げておけば良かったとほぞを噛むくらいなら、と書いて記しました。是非、再考をお願い出来ませんか。まだ事故がなくてさいわいなのではないのでしょうか。もう一つ、これは新しく隣ルートが出来たために生じた危険な情景ですが、「太陽がいっぱい」の1ピンから2ピンの間がランナウトしており怖いのか左にできたルートのピンを代用してこれも長いシュウリングで取っておられます。落ちないから大丈夫と思っておられるようですが、もし落ちたら自分はどこに向かって激突しに行くと考えられておられるのか、人ごとながらぞっとするのです。これは、左にルートが出来たからでルートの問題ではないのですが、これも実態に合わせ、どうするのが賢明な措置なのかを検討する必要があるのではないのでしょうか。これも事故が起きる前には是非ご検討ください。再生に役に立たない人間が横からモノを言っすいません。

熊カンテの状況

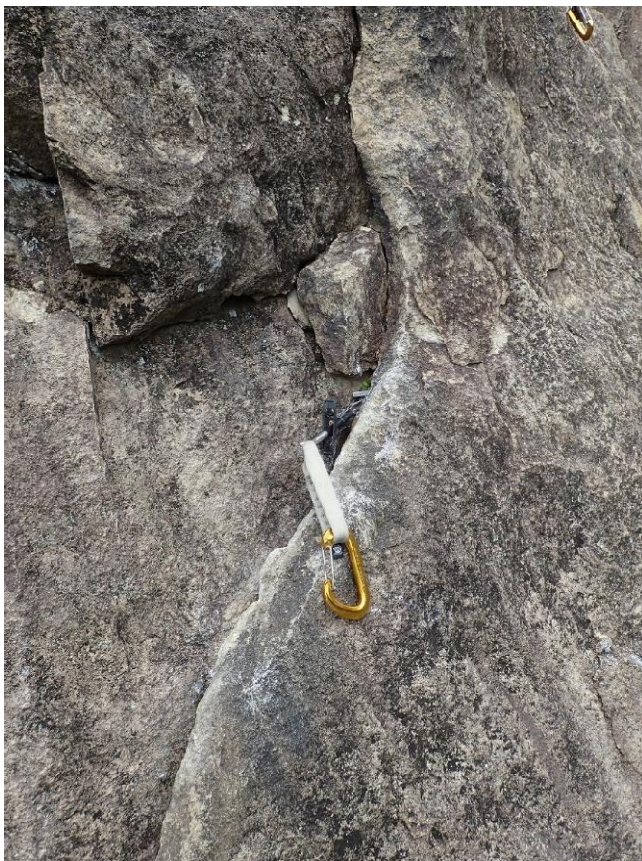




ボルト

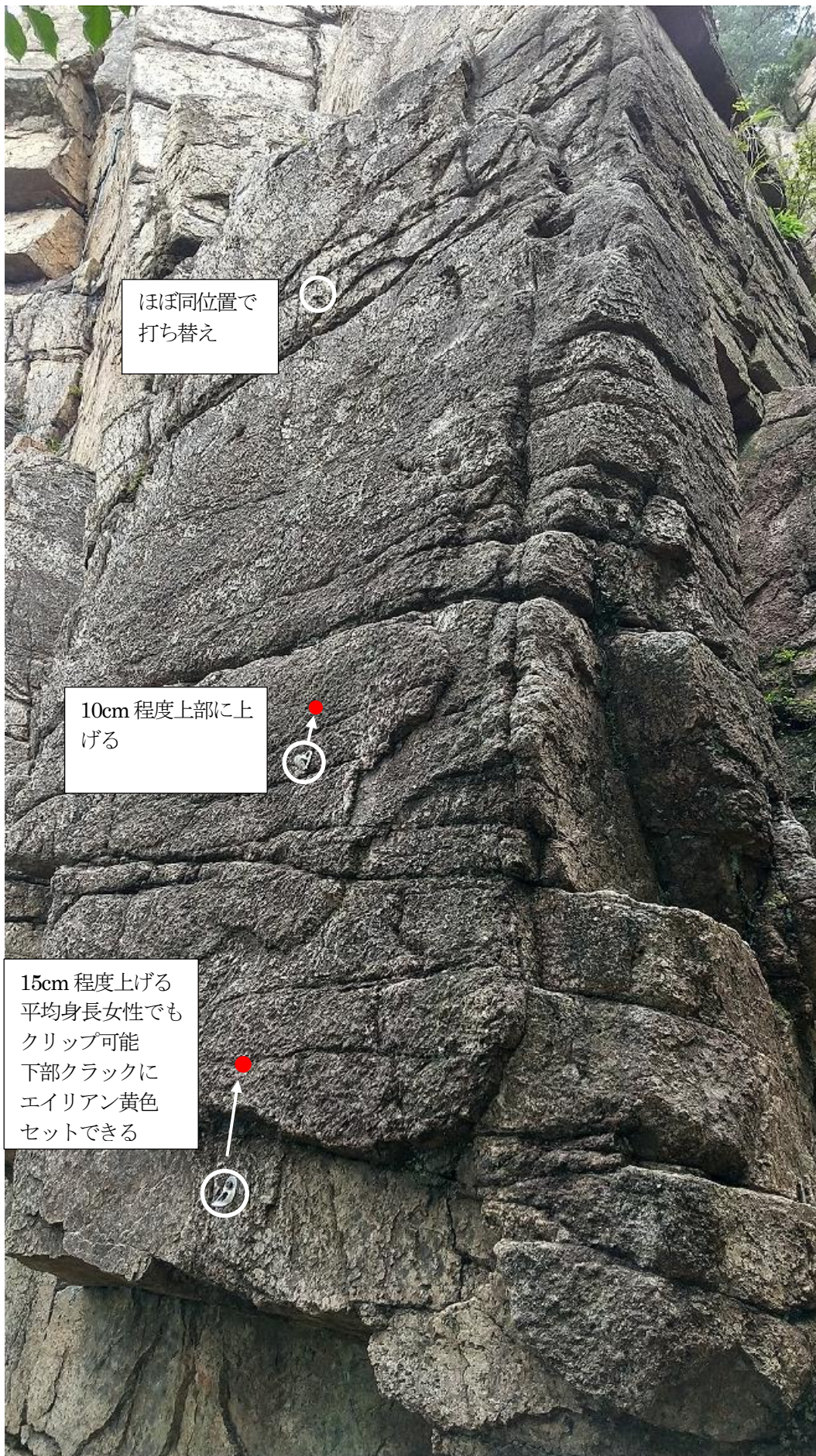


1カム 0.4



2カム 0.4 (設置状況は余り良くない)

堡塁岩 右カンテ左

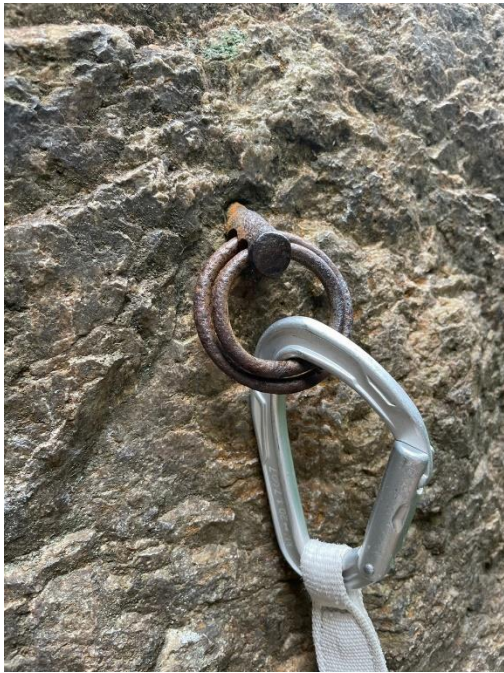


・スカイフレーク・カンタレスについては同位置付近での打ち替えとする。

新田氏が発信されている写真
スカイブレイク～コズミック



- 1.最上部緑丸：コズミック ケミカルボルト
- 2.2～4 水色丸：PETZL ブリーユ 3本
- 3.5～6 赤丸：リングボルト 2本



スカイフレーク下部のリングボルト



スカイフレーク下部のリングボルト

カンタレス

